

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限（2013年11月21日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定した収益の確保とともに信託財産の十分な成長をはかることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーフンド	ジャパン・ソブリン・オープンマザーファンド受益証券
	マザーファンド	わが国の国債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国債を主要投資対象とし、安定した収益の確保とともに信託財産の十分な成長をはかることを目的として運用を行います。</li> <li>ラダー型運用を活用し、安定した収益の確保を目指します。</li> </ul>	
主な組入制限	ベビーフンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。</li> <li>外貨建資産への投資は行いません。</li> </ul>
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年11月20日（休業日の場合は翌営業日とします。）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、利子・配当収入の中から分配金額を決定しますが、信託財産の十分な成長に資することに配慮して分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# ジャパン・ソブリン・オープン（資産成長型）

愛称：ジャパソブN

第8期（決算日：2021年11月22日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「ジャパン・ソブリン・オープン（資産成長型）」は、去る11月22日に第8期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数） NOMURA-BPI/Ladder10年		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	（分配落）	税込分配金	期騰落率	期騰落	中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期(2017年11月20日)	10,201	0	△0.0	254.79	0.1	99.2	—	1,966
5期(2018年11月20日)	10,171	0	△0.3	254.49	△0.1	99.2	—	2,527
6期(2019年11月20日)	10,234	0	0.6	256.31	0.7	99.2	—	6,625
7期(2020年11月20日)	10,163	0	△0.7	254.94	△0.5	99.0	—	6,186
8期(2021年11月22日)	10,129	0	△0.3	254.55	△0.2	99.0	—	3,786

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) NOMURA-BPI/Ladder 10年とは、野村證券株式会社が発表している期間10年でラダー型運用を行った場合のパフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) NOMURA-BPI/Ladder10年		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2020年11月20日	10,163	—	254.94	—	99.0	—
11月末	10,154	△0.1	254.72	△0.1	99.2	—
12月末	10,151	△0.1	254.69	△0.1	99.3	—
2021年1月末	10,145	△0.2	254.57	△0.1	99.2	—
2月末	10,097	△0.6	253.44	△0.6	99.1	—
3月末	10,124	△0.4	254.16	△0.3	98.9	—
4月末	10,127	△0.4	254.25	△0.3	99.0	—
5月末	10,130	△0.3	254.35	△0.2	99.1	—
6月末	10,135	△0.3	254.55	△0.2	99.2	—
7月末	10,156	△0.1	255.05	0.0	99.1	—
8月末	10,150	△0.1	254.94	△0.0	99.1	—
9月末	10,125	△0.4	254.36	△0.2	99.0	—
10月末	10,117	△0.5	254.23	△0.3	99.2	—
(期 末) 2021年11月22日	10,129	△0.3	254.55	△0.2	99.0	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第8期：2020年11月21日～2021年11月22日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第8期首	10,163円
第8期末	10,129円
既払分配金	0円
騰落率	-0.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.3%の下落となりました。

## ▶ 基準価額の変動要因

### 下落要因

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

### ▶ 国内債券市況

#### 国内長期金利は上昇しました。

期首から2021年2月下旬にかけては、日銀の金融政策に対する警戒感から国内長期金利は上昇しました。その後、同警戒感が和らいだことなどから国内長期金利は低下に転じました。8月上旬以降は、米金利が上昇したことなどを背景に、国内長期金利は再度上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ ジャパン・ソブリン・オープン（資産成長型）

ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

### ▶ ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド

日本国債を高位に組み入れ、国債の残存期間ごとの投資額面金額がそれぞれ同額程度になるような運用（ラダー型運用）をめざしました。期を通じて純資産総額に対する国債の組入比率を概ね高位に維持し、期末は99.3%となりました。ラダー型運用としては、残存10年程度までの国債に投資し、1年程度ごとに見た残存期間ごと（①残存約1年以内、②残存

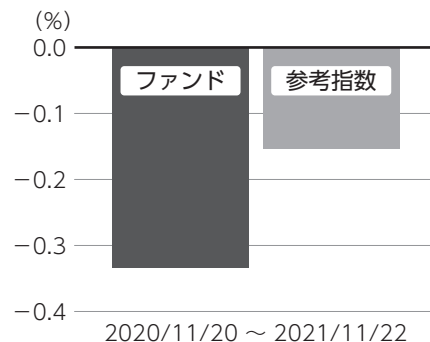
1～2年程度、③残存2～3年程度、・・・、⑩残存9～10年程度の全10期間）の投資額面金額が概ね等しくなるような運用を行いました。2020年12月、2021年3月、6月、9月に、組入国債の一部が償還を迎えたため、その償還資金を速やかに残存10年程度の国債に再投資しました。期末における残存期間ごとの投資額面金額は15.8～17.3億円（投資額面金額の総額は162.3億円）となりました。デュレーション\*は期を通じて、5年程度となりました。

\*デュレーションとは「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数はNOMURA-BPI/Ladder10年です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案して、利子・配当収入の中から分配金額を決定しますが、信託財産の十分な成長に資することに配慮して、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第8期
	2020年11月21日～2021年11月22日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	335

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶ ジャパン・ソブリン・オープン （資産成長型）

ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、マザーファンドを通じて運用を行っていく方針です。

### ▶ ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド

引き続き、日本国債を主要投資対象とします。

運用に当たっては、組入比率を高位に保ちながら、残存期間ごと（最長10年程度）で見た投資額面金額が同額程度になるような運用（ラダー型運用）をめざします。



2020年11月21日～2021年11月22日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	20	0.200	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(6)	(0.055)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(11)	(0.111)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	20	0.202	

期中の平均基準価額は、10,137円です。

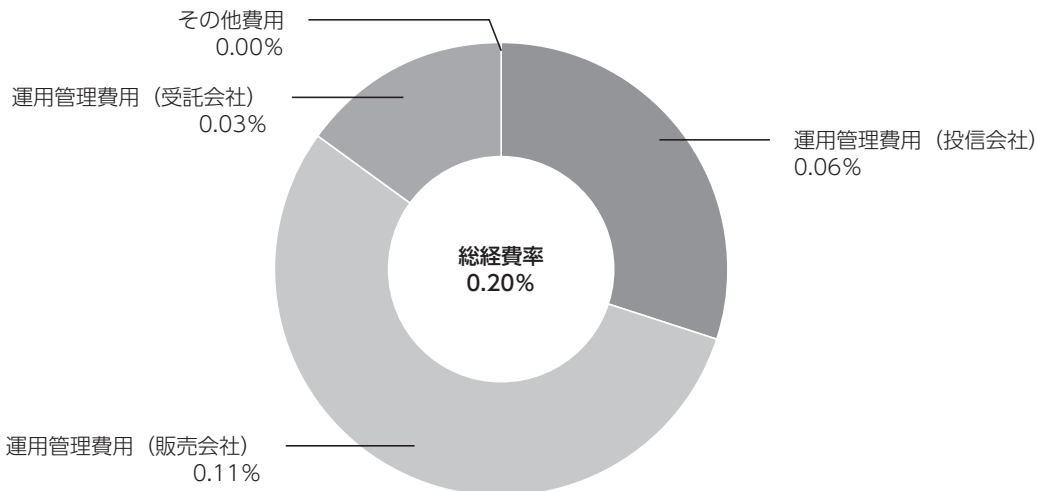
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.20%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年11月21日～2021年11月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 180,401	千円 218,025	千口 2,153,843	千円 2,601,481

○利害関係人との取引状況等

(2020年11月21日～2021年11月22日)

利害関係人との取引状況

<ジャパン・ソブリン・オープン（資産成長型）>

該当事項はございません。

<ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 4,069	百万円 522	% 12.8	百万円 8,624	百万円 1,518	% 17.6

平均保有割合 25.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2021年11月22日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 5,097,189	千口 3,123,747	千円 3,775,049

○投資信託財産の構成

(2021年11月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド	千円 3,775,049	% 98.2
コール・ローン等、その他	70,811	1.8
投資信託財産総額	3,845,860	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年11月22日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,845,860,513
コール・ローン等	16,084,160
ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド(評価額)	3,775,049,057
未収入金	54,727,296
(B) 負債	59,403,728
未払解約金	54,812,101
未払信託報酬	4,541,201
未払利息	28
その他未払費用	50,398
(C) 純資産総額(A－B)	3,786,456,785
元本	3,738,216,065
次期繰越損益金	48,240,720
(D) 受益権総口数	3,738,216,065口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,129円

<注記事項>

- ①期首元本額 6,087,556,042円  
 期中追加設定元本額 309,277,013円  
 期中一部解約元本額 2,658,616,990円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0129円です。

○損益の状況（2020年11月21日～2021年11月22日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 9,081
支払利息	△ 9,081
(B) 有価証券売買損益	△ 3,017,407
売買益	7,033,585
売買損	△10,050,992
(C) 信託報酬等	△10,042,520
(D) 当期損益金(A+B+C)	△13,069,008
(E) 前期繰越損益金	△13,084,657
(F) 追加信託差損益金	74,394,385
(配当等相当額)	( 91,030,947)
(売買損益相当額)	(△16,636,562)
(G) 計(D+E+F)	48,240,720
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	48,240,720
追加信託差損益金	74,394,385
(配当等相当額)	( 91,081,724)
(売買損益相当額)	(△16,687,339)
分配準備積立金	34,248,578
繰越損益金	△60,402,243

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2020年11月21日～ 2021年11月22日
費用控除後の配当等収益額	3,989,972円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	91,081,724円
分配準備積立金額	30,258,606円
当ファンドの分配対象収益額	125,330,302円
1万口当たり収益分配対象額	335円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## ▶▶▶ ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド ◀◀◀

《第203期》決算日2021年6月21日      《第206期》決算日2021年9月21日  
 《第204期》決算日2021年7月20日      《第207期》決算日2021年10月20日  
 《第205期》決算日2021年8月20日      《第208期》決算日2021年11月22日

-----  
 [計算期間：2021年5月21日～2021年11月22日]

「ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド」は、11月22日に第208期の決算を行いました。  
 以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第203期～第208期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の国債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) NOMURA-BPI/Ladder10年		債券 組入比率	債券 先物比率	純資 産総額
	円	騰落率 %	騰落率 %	騰落率 %			
179期(2019年6月20日)	12,195	0.5	256.99	0.5	99.5	—	27,040
180期(2019年7月22日)	12,176	△0.2	256.60	△0.2	99.4	—	27,269
181期(2019年8月20日)	12,241	0.5	257.95	0.5	99.5	—	27,487
182期(2019年9月20日)	12,234	△0.1	257.83	△0.0	99.6	—	27,229
183期(2019年10月21日)	12,191	△0.4	256.93	△0.4	99.5	—	27,007
184期(2019年11月20日)	12,163	△0.2	256.31	△0.2	99.5	—	26,731
185期(2019年12月20日)	12,080	△0.7	254.57	△0.7	99.6	—	26,902
186期(2020年1月20日)	12,088	0.1	254.71	0.1	99.6	—	26,901
187期(2020年2月20日)	12,120	0.3	255.35	0.3	99.4	—	26,876
188期(2020年3月23日)	12,068	△0.4	254.29	△0.4	99.4	—	25,927
189期(2020年4月20日)	12,096	0.2	254.83	0.2	99.6	—	26,512
190期(2020年5月20日)	12,104	0.1	254.97	0.1	99.5	—	26,309
191期(2020年6月22日)	12,098	△0.0	254.86	△0.0	99.5	—	26,207
192期(2020年7月20日)	12,103	0.0	254.97	0.0	99.6	—	25,784
193期(2020年8月20日)	12,084	△0.2	254.56	△0.2	99.4	—	25,355
194期(2020年9月23日)	12,102	0.1	254.93	0.1	99.6	—	24,795
195期(2020年10月20日)	12,097	△0.0	254.83	△0.0	99.5	—	24,171
196期(2020年11月20日)	12,101	0.0	254.94	0.0	99.3	—	23,211
197期(2020年12月21日)	12,097	△0.0	254.81	△0.1	99.4	—	22,703
198期(2021年1月20日)	12,090	△0.1	254.68	△0.1	99.5	—	21,812
199期(2021年2月22日)	12,047	△0.4	253.82	△0.3	99.4	—	21,072
200期(2021年3月22日)	12,070	0.2	254.28	0.2	99.4	—	20,811
201期(2021年4月20日)	12,073	0.0	254.32	0.0	99.4	—	20,411
202期(2021年5月20日)	12,071	△0.0	254.28	△0.0	99.5	—	19,921
203期(2021年6月21日)	12,090	0.2	254.67	0.2	99.6	—	19,392
204期(2021年7月20日)	12,116	0.2	255.18	0.2	99.5	—	19,088
205期(2021年8月20日)	12,114	△0.0	255.14	△0.0	99.3	—	18,609
206期(2021年9月21日)	12,094	△0.2	254.71	△0.2	99.5	—	17,631
207期(2021年10月20日)	12,069	△0.2	254.23	△0.2	99.4	—	17,054
208期(2021年11月22日)	12,085	0.1	254.55	0.1	99.3	—	16,521

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NOMURA-BPI/Ladder 10年とは、野村證券株式会社が発表している期間10年でラダー型運用を行った場合のパフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		( 参 考 指 数 ) NOMURA-BPI/Ladder10年		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第203期	(期 首) 2021年5月20日	円 12,071	% —	254.28	% —	% 99.5	% —
	5月末	12,074	0.0	254.35	0.0	99.4	—
	(期 末) 2021年6月21日	12,090	0.2	254.67	0.2	99.6	—
第204期	(期 首) 2021年6月21日	12,090	—	254.67	—	99.6	—
	6月末	12,083	△0.1	254.55	△0.0	99.5	—
	(期 末) 2021年7月20日	12,116	0.2	255.18	0.2	99.5	—
第205期	(期 首) 2021年7月20日	12,116	—	255.18	—	99.5	—
	7月末	12,110	△0.0	255.05	△0.1	99.4	—
	(期 末) 2021年8月20日	12,114	△0.0	255.14	△0.0	99.3	—
第206期	(期 首) 2021年8月20日	12,114	—	255.14	—	99.3	—
	8月末	12,104	△0.1	254.94	△0.1	99.4	—
	(期 末) 2021年9月21日	12,094	△0.2	254.71	△0.2	99.5	—
第207期	(期 首) 2021年9月21日	12,094	—	254.71	—	99.5	—
	9月末	12,076	△0.1	254.36	△0.1	99.3	—
	(期 末) 2021年10月20日	12,069	△0.2	254.23	△0.2	99.4	—
第208期	(期 首) 2021年10月20日	12,069	—	254.23	—	99.4	—
	10月末	12,069	0.0	254.23	△0.0	99.5	—
	(期 末) 2021年11月22日	12,085	0.1	254.55	0.1	99.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。



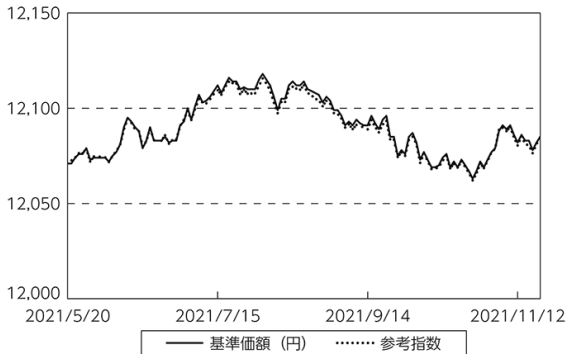
## ○運用経過

### ●当作成期中の基準価額等の推移について

#### ◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.1%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は当作成期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

### ●基準価額の変動要因

#### (上昇要因)

年限によってばらつきはあったものの、国内金利が概ね低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

### ●投資環境について

#### ◎国内債券市況

- ・国内長期金利は小幅に低下しました。
- ・国内長期金利は日銀による長短金利操作付き量的・質的金融緩和の下、概ね横ばい圏での推移となりました。当作成期首との比較では、国内長期金利は小幅に低下しました。

### ●当該投資信託のポートフォリオについて

日本国債を高位に組み入れ、国債の残存期間ごとの投資額面金額がそれぞれ同額程度になるような運用(ラダー型運用)を目指しました。当作成期を通じて純資産総額に対する国債の組入比率をおおむね高位に維持し、当作成期末は99.3%となりました。ラダー型運用としては、残存10年程度までの国債に投資し、1年程度ごとで見た残存期間ごと(①残存約1年以内、②残存1~2年程度、③残存2~3年程度、・・・、⑩残存9~10年程度の全10期間)の投資額面金額がおおむね等しくなるような運用を行いました。2021年6月と9月に、組入国債の一部が償還を迎えたため、その償還資金を速やかに残存10年程度の国債に再投資しました。当作成期末における残存期間ごとの投資額面金額は15.8~17.3億円(投資額面金額の総額は162.3億円)となりました。デュレーション\*は当作成期を通じて、5年程度となりました。

\*デュレーションとは「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

### ○今後の運用方針

- ・引き続き、日本国債を主要投資対象とします。
- ・運用に当たっては、組入比率を高位に保ちながら、残存期間ごと(最長10年程度)で見た投資額面金額が同額程度になるような運用(ラダー型運用)をめざします。

○1万口当たりの費用明細

(2021年5月21日～2021年11月22日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2021年5月21日～2021年11月22日)

公社債

		第203期～第208期	
		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 1,828,945	千円 4,335,374 ( 900,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年5月21日～2021年11月22日)

利害関係人との取引状況

区分	第203期～第208期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 1,828	百万円 502	% 27.5	百万円 4,335	百万円 748	% 17.3

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2021年11月22日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第208期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	16,230,000	16,409,964	99.3	—	50.8	29.3	19.3
合 計	16,230,000	16,409,964	99.3	—	50.8	29.3	19.3

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第208期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	%	千円	千円	
国債証券				
第319回利付国債 (10年)	1.1	400,000	400,348	2021/12/20
第321回利付国債 (10年)	1.0	380,000	381,368	2022/3/20
第323回利付国債 (10年)	0.9	400,000	402,372	2022/6/20
第325回利付国債 (10年)	0.8	400,000	403,076	2022/9/20
第326回利付国債 (10年)	0.7	380,000	383,382	2022/12/20
第328回利付国債 (10年)	0.6	390,000	393,728	2023/3/20
第329回利付国債 (10年)	0.8	410,000	415,961	2023/6/20
第330回利付国債 (10年)	0.8	400,000	406,792	2023/9/20
第332回利付国債 (10年)	0.6	390,000	395,912	2023/12/20
第333回利付国債 (10年)	0.6	390,000	396,618	2024/3/20
第334回利付国債 (10年)	0.6	400,000	407,528	2024/6/20
第335回利付国債 (10年)	0.5	410,000	417,314	2024/9/20
第336回利付国債 (10年)	0.5	390,000	397,573	2024/12/20
第338回利付国債 (10年)	0.4	400,000	406,996	2025/3/20
第339回利付国債 (10年)	0.4	410,000	417,642	2025/6/20
第340回利付国債 (10年)	0.4	380,000	387,584	2025/9/20
第341回利付国債 (10年)	0.3	390,000	396,618	2025/12/20
第342回利付国債 (10年)	0.1	400,000	403,644	2026/3/20
第343回利付国債 (10年)	0.1	400,000	403,764	2026/6/20
第344回利付国債 (10年)	0.1	400,000	403,776	2026/9/20
第345回利付国債 (10年)	0.1	410,000	413,964	2026/12/20
第346回利付国債 (10年)	0.1	390,000	393,958	2027/3/20
第347回利付国債 (10年)	0.1	410,000	414,358	2027/6/20
第348回利付国債 (10年)	0.1	380,000	384,111	2027/9/20
第349回利付国債 (10年)	0.1	400,000	404,392	2027/12/20
第350回利付国債 (10年)	0.1	410,000	414,551	2028/3/20
第351回利付国債 (10年)	0.1	400,000	404,488	2028/6/20

銘	柄	第208期末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>国債証券</b>		%	千円	千円	
第352回利付国債 (10年)		0.1	400,000	404,520	2028/9/20
第353回利付国債 (10年)		0.1	410,000	414,805	2028/12/20
第354回利付国債 (10年)		0.1	420,000	424,939	2029/3/20
第355回利付国債 (10年)		0.1	420,000	424,783	2029/6/20
第356回利付国債 (10年)		0.1	420,000	424,611	2029/9/20
第357回利付国債 (10年)		0.1	440,000	444,624	2029/12/20
第358回利付国債 (10年)		0.1	420,000	424,195	2030/3/20
第359回利付国債 (10年)		0.1	420,000	423,780	2030/6/20
第360回利付国債 (10年)		0.1	430,000	433,409	2030/9/20
第361回利付国債 (10年)		0.1	440,000	442,983	2030/12/20
第362回利付国債 (10年)		0.1	430,000	432,390	2031/3/20
第363回利付国債 (10年)		0.1	430,000	431,840	2031/6/20
第364回利付国債 (10年)		0.1	430,000	431,255	2031/9/20
合	計		16,230,000	16,409,964	

○投資信託財産の構成

(2021年11月22日現在)

項 目	第208期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 16,409,964	% 98.8
コール・ローン等、その他	198,876	1.2
投資信託財産総額	16,608,840	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第203期末	第204期末	第205期末	第206期末	第207期末	第208期末
	2021年6月21日現在	2021年7月20日現在	2021年8月20日現在	2021年9月21日現在	2021年10月20日現在	2021年11月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	19,921,021,583	19,110,017,720	18,712,717,605	18,079,612,696	17,210,733,092	16,608,840,585
コール・ローン等	605,461,119	98,311,641	212,115,265	525,723,319	238,800,251	182,669,509
公社債(評価額)	19,306,736,900	18,997,867,600	18,481,885,900	17,546,264,000	16,960,213,900	16,409,964,200
未収利息	8,801,647	13,691,741	18,574,853	7,606,474	11,594,669	16,082,604
前払費用	21,917	146,738	141,587	18,903	124,272	124,272
(B) 負債	528,276,079	21,807,968	103,077,233	448,233,873	155,873,088	87,288,960
未払金	492,709,700	—	—	402,436,000	—	—
未払解約金	35,565,301	21,807,793	103,076,856	45,796,937	155,872,663	87,288,635
未払利息	1,078	175	377	936	425	325
(C) 純資産総額(A-B)	19,392,745,504	19,088,209,752	18,609,640,372	17,631,378,823	17,054,860,004	16,521,551,625
元本	16,040,955,917	15,754,542,534	15,361,988,711	14,578,963,473	14,130,707,911	13,671,339,383
次期繰越損益金	3,351,789,587	3,333,667,218	3,247,651,661	3,052,415,350	2,924,152,093	2,850,212,242
(D) 受益権総口数	16,040,955,917口	15,754,542,534口	15,361,988,711口	14,578,963,473口	14,130,707,911口	13,671,339,383口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,090円	12,116円	12,114円	12,094円	12,069円	12,085円

○損益の状況

項 目	第203期	第204期	第205期	第206期	第207期	第208期
	2021年5月21日～ 2021年6月21日	2021年6月22日～ 2021年7月20日	2021年7月21日～ 2021年8月20日	2021年8月21日～ 2021年9月21日	2021年9月22日～ 2021年10月20日	2021年10月21日～ 2021年11月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	6,405,356	5,268,530	5,520,434	5,327,169	4,437,116	4,868,330
受取利息	6,413,622	5,274,690	5,527,596	5,339,551	4,445,006	4,876,744
支払利息	△ 8,266	△ 6,160	△ 7,162	△ 12,382	△ 7,890	△ 8,414
(B) 有価証券売買損益	22,692,800	36,526,100	△ 8,942,300	△ 37,089,300	△ 40,023,800	16,413,900
売買益	29,368,700	39,372,600	1,082,800	88,000	—	19,134,700
売買損	△ 6,675,900	△ 2,846,500	△ 10,025,100	△ 37,177,300	△ 40,023,800	△ 2,720,800
(C) 当期損益金(A+B)	29,098,156	41,794,630	△ 3,421,866	△ 31,762,131	△ 35,586,684	21,282,230
(D) 前期繰越損益金	3,418,488,490	3,351,789,587	3,333,667,218	3,247,651,661	3,052,415,350	2,924,152,093
(E) 追加信託差損益金	6,713,494	2,507,952	9,111,139	3,258,413	15,867,830	6,103,090
(F) 解約差損益金	△ 102,510,553	△ 62,424,951	△ 91,704,830	△ 166,732,593	△ 108,544,403	△ 101,325,171
(G) 計(C+D+E+F)	3,351,789,587	3,333,667,218	3,247,651,661	3,052,415,350	2,924,152,093	2,850,212,242
次期繰越損益金(G)	3,351,789,587	3,333,667,218	3,247,651,661	3,052,415,350	2,924,152,093	2,850,212,242

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首(前作成期末)元本額 16,503,165,516円  
 作成期中追加設定元本額 208,565,775円  
 作成期中一部解約元本額 3,040,391,908円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.2085円です。
- ②作成期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 ジャパン・ソブリン・オープン 10,547,591,714円  
 ジャパン・ソブリン・オープン(資産成長型) 3,123,747,669円  
 合計 13,671,339,383円